

梅雨間近の校庭に立つ一本のケヤキ。春先からあっという間に葉を茂らせ、緑を濃くしてきました。西門を入れてすぐの場所にあり、西側から学校に続く坂道を上ってきた子どもたちを、毎朝迎えるように立っています。神石小学校のシンボルツリーの一つで、幹回りが95cmくらい、樹高は8mくらいはあります。時々、遊び疲れた子どもたちが木陰で休んでいるのを見受けることがありますが、本当に涼しそうです。

先月20日の運動会には、たくさんの皆様にご来校いただき、『全力！一丸！スマイルいっぱい運動会』をテーマにして最後まで頑張る子どもたちに、熱い声援と温かい拍手をありがとうございました。おかげ様で、優勝旗の行方は決まったものの、赤組白組が共に運動会を体全体で楽しみ、最後まで生き生きとやり遂げた「感動いっぱい達成感いっぱい」の運動会となりました。先生方とも、運動会までの子どもたちの成長を確かめ合い、本校のめざしている子ども像「かしこい子 たくましい子 さわやかな子」の姿を垣間見ることのできた行事になったと喜び合いました。運動会後は、この経験と自信をこれからの学校生活の場においても生かし、児童自ら、より本物の神石っ子を目指していけるよう指導を続けていきます。

六月の梅雨空の下、一学期後半を迎え、新たな挑戦を始めた神石っ子67名は、新緑の葉色をより一層濃くして、空いっぱい伸びていこうとする校庭のケヤキの一葉一葉。天からの雨を受けながら神石という大地に根を張り、しっかりと伸びていきます。これからも、皆様の応援よろしく願いいたします。



神石小校庭のケヤキ

校長 爲平祐嗣

